



【学校教育目標】 「地域を愛し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」

I 【人権・同和教育の充実】

つながる

生徒一人ひとりが、周りから大事にされていると実感する集団づくりをめざし、自尊感情を高めます。

- ⇒ ア 学習計画帳を通して生徒と気持ちの交流を図れるよう、提出の習慣化をめざします。
- イ 人権学習、「城東のつどい」、人権講演会などのとりくみでは、自分や仲間をみつめるための発信・交流の場を設定します。
- ウ 人権学習の後、教育相談を実施し学習内容を深めます。
- エ 差別をなくそうとする気持ちと態度を、学習を通して育てていきます。

評価目標 ①学級等で自分の思っていることや考えていることが言える。【85%】

②今の自分が好きと言える。または、自分にはよいところやがんばっているところがある。【85%】

II 【学力の向上】

わかる・できる

目標をもたせ、その実現に向けて家庭学習を習慣化させるとともに、わかる授業の創造を目指し授業改善に取り組みます。

- ⇒ ア 教育相談により、目標をもたせ、意欲的に学習するよう取り組みます。
- イ 表現交流・小集団学習の時間を授業に設定します。
- ウ 授業力向上を目指し、研究授業や授業参観に積極的に取り組みます。
- エ パソコンの活用や、宿題の提示の仕方を工夫し、分かったことをできるようになるよう工夫します。
- オ マイスタノートの活用を図り提出を習慣化します。
- カ 読書の習慣化を図るために取組の工夫と研究をします。

評価目標 ①授業がよくわかる。【90%】

②家庭では、平日2時間以上、休日4時間以上、家庭学習にとりくんだ。【60%】

③自分の設定した目標時間以上、読書をすることができた。【60%】

III 【キャリア教育の推進、地域との連携】

であう

出会い・体験学習を通して、気づきと感動を大切にしたりくみを進め、将来への夢や目標をもって生活する力を育てます。

- ⇒ ア ゲストティーチャーや講師を招いての学習を充実します。
- イ 体験活動や交流活動から、様々なキャリアについて学習します。
- ウ 学校運営協議会と連携し、地域の人との交流から学ぶ機会を増すように努めます。
- エ 学年通信、学校だよりの発行、ホームページ等による発信の充実に努めます。
- オ 生徒に望ましい働く姿を示し、生徒と向き合える時間の確保に努めます。

評価目標 ①人権学習や体験学習を通して、自分を見つめ、生き方について考えることができた。【95%】

②体験学習や人との出会いの機会を通して、将来の夢や目標をもつことができた。【80%】